



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第2巻第2号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第2巻第2号). 泌尿器科紀要 1956, 2(2): 115-115

ISSUE DATE:

1956-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111102>

RIGHT:

編 集 後 記

本誌創刊以来各方面の御後援によつて順調に第 1 巻、季刊 4 冊を発行する事が出来た。立派な原稿を続々と寄せて頂き感謝している。之をなるべく早く掲載したいと考え、季刊、年 4 回を、隔月年 6 回発行とした。今後も寄稿をお願いすると共に、会員入会の御勧誘をお頼みする。



今までは欧文抄録を載せる運びに至らなかつたが、今後は之を実行する。既刊のものに就ても遑つて掲載する予定である。尚肩の凝らない巻頭文を諸家をお願いしたいと考えている。



広島医大助教授木村順一博士は根岸博士の後任として岡山医大皮泌尿科教授に、東大講師黒田恭一博士は金沢医大に新設の泌尿器科教授に、北大教授岩下健三博士は片岡八束博士の後任として京都府大皮泌尿科教授にそれぞれ就任せられた（後記子）。

購 読 要 項

1. 発行は隔月（年 6 回）とする。
2. 会員は年間料金 600 円を前納する。1 冊料金 100 円。払込みは 振替口座番号 京都 4772 番泌尿器科紀要編集部、或は 第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は本会々員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400 字詰原稿用紙を用いること。
4. 文献の書式は次の如くする。
著者名：誌名、巻数、頁数、年次。
例 中 野：泌尿紀要，1：100，昭30。
Lazarus, J.A. : J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300 語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用うること。
6. 掲載料は 4 頁迄毎頁 500 円、それ以上の頁、アート紙、図表、写真は実費を申受ける。別冊 20 部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は 京都市左京区聖護院京都大学病院泌尿器科紀要編集部。